



Q 期日前投票は4箇所を実施を A 選挙管理委員会と検討

伊藤議員

衆議院総選挙には各福祉施設で期日前投票所が開設され、入所者は従来より簡便な方法で投票することができ、評価しています。

しかし、公示日の翌日から開設された期日前投票所は赤名庁舎のみで、他の地区は27日になって開設されました。公示日の翌日から4箇所で開催されるのが妥当と考えるが。

山崎町長

投票管理者、立会人、事務従事者の人員確保と選挙経費の節減などから1箇所とされています。

投票しやすい体制、環境を整えることは大切であり、選挙管理委員会の検討に心えます。

Q 障害者等の移送に支援を A 関係機関と協議する

伊藤議員

寝たきりの方が定期的に病院へ通院する場合、町内にストレッチャーを装備した介護タクシーが存在しないため、お年寄りや障害者の移動が困難であります。

介護つき移送サービスはNPO法人にも認められており、会員制で利用者が限定されることで、民間会社の営業を侵害しません。行政の支援で実現の考えは。

山崎町長

介護保険の認定者は高齢者の20%で、通院、外出介助が行われます。障害のある方

Q 老人保健施設設置は A 既存サービスの連携を含め検討

伊藤 好晴議員

寝たきりなどの要介護老人対策として、家庭ではどうしても対応できない場合に必要な医療と介護を行う施設を充実させることが必要です。

本町にはこの施設がないため、町外の施設への入所者が恒常的に3名程度あり、どうしても必要な施設と考えるが。

山崎 英樹町長

福祉に関するサービス基盤は、近隣の市町と比較しても大変恵まれた体制が整っています。介護老人保健施設、だけはあります。

既存施設や飯南病院の活用や既存のサービス基盤を生かす仕組みを作り、福祉事業所の皆さんと協議しながら、施設または機能としての老人保健施設を検討します。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 赤名・晴雲トンネル改良、改修は A 整備の必要性をアピール

安部 誠也議員

中国横断自動車道尾道松江線は平成20年代半ばに開通が予定されておりますが、このままでは昔から交通の要所でしたわが町は、陸の孤島になります。

町総合振興計画では「赤名トンネルの改良と晴雲トンネルの改修を要望する」とありますが、いまだに見えてきておりません。

今年度末には三刀屋のトンネルも竣工し、次はわが町のトンネルの着工かと町民は期待しています。現状と今後の見通しは。

山崎 英樹町長

これまでの国土交通省とのやりとりでは、条件とし



Q 開通後の路線バス確保は A 運行維持には利用率向上を

安部議員

尾道松江線開通後の住民の足である路線バス（都市間交通）の確保について、町総合振興計画にもなく、危機感がないと思えません。

開通後は都市間交通バスが走らなくなることが予想され、交通弱者、高齢者の方は不便になります。

将来、予想される不安材料を排除し、安心を与えるためには早急に手を打つ必要があるが。

山崎町長

バス路線の確保は重要な町民の足、町外から本町への唯一の公共機関であり非常に大切なものです。

過去に飯石郡内でのバス停の廃止をする案が提示され、本当に苦い経験がありました。運行維持には利用率を上

Q 地域活性化策での瀬戸山城整備は A 年次的に整備

安部議員

瀬戸山城（衣掛山）の整備には、昨年からの有志と町で本丸と周辺の郭の伐採、清掃作業が行われました。

尾道松江線の開通に伴い、交通量の減少が予測されるいま、地域活性化策としてこの貴重な歴史遺産、地域資源をどう再生するのか。

山崎町長

町の文化財保護審議会から貴重な歴史遺産として、町の文化財とするよう提言を受けています。

教育委員会は継承し保護、調査を行うと聞いております。町としても関係者と協議し、年次的に整備を進めます。

